

精神医学系〈D14〉

オーガナイザー

神経精神科 辻 富基美

I 一般学習目標

生物・心理社会・倫理的医療モデルによって全人的医療を実践している精神医学のあり方を学習するとともに、精神と行動の障害に関する病態生理・診断・治療を理解し、患者と医師の良好な信頼関係をもとに患者の問題解決に医師が援助できることは何かを学ぶ。

II 個別学習目標

1. 精神科面接の基本を説明できる。
2. 操作的診断基準に基づく精神科診断分類法について説明できる。
3. 法と倫理の立場から精神医療を述べることができる。
4. 包括医療の概念について精神医学的な立場から述べるができる。
5. 精神疾患の鑑別診断における心理検査・画像診断の意義を説明できる。
6. 症状精神病の概念と診断を述べるができる。
7. 老年期において出現する精神疾患を列挙し、その特徴を説明できる。
8. 認知症症状を来たす疾患を列挙し、その診断と治療を説明できる。
9. 薬物依存を来たす薬物を挙げ、それぞれの症状について説明できる。
10. アルコール依存症について説明し、その関連障害および合併症を列挙できる。
11. 統合失調症の病型を列挙し、急性期の症状と治療を説明できる。
12. 統合失調症の慢性期の特徴と治療を説明できる。
13. うつ病の特徴的な症候と診断が説明できる。
14. 躁うつ病（双極性障害）の症候と診断が説明できる。
15. 主要な不安障害とストレス関連障害を列挙し、その診断と治療を説明できる。
16. 心身症の概念と摂食障害の症候と治療を説明できる。
17. 精神療法を中心とした精神疾患の治療の要点と適応を述べるができる。
18. 精神疾患の薬物療法・身体療法の要点と適応について述べるができる。
19. 解離性（転換性）障害、身体表現性障害、人格障害の症候と診断を説明できる。
20. 小児期、思春期における精神障害を列挙し説明できる。
21. 精神遅滞と広汎性発達障害の相違について説明できる。
22. 睡眠障害を来たす主要疾患を列挙し、診断と治療を述べるができる。
23. 医学の一分野としての精神医学の歴史と現状について述べるができる。
24. 精神医学を比較文化的な観点から述べるができる。

III 講義項目と担当者

(1) 精神医学総論・各論

- | | |
|------------------------------|----|
| 1. 患者－医師の良好な信頼関係に基づく精神科面接の基本 | 高橋 |
| 2. 精神科診断分類法 | 篠崎 |
| 3. 精神医療の法と倫理 | 奥平 |
| 4. コンサルテーション・リエゾン精神医学 | 辻 |
| 5. 心理検査・画像診断 | 篠崎 |
| 6. 症状精神病の概念と診断 | 郭 |
| 7. 認知症性疾患の診断と治療（老年期の精神医学） | 山田 |
| 8. コミュニケーション技法とアンガーマネジメント | 山田 |
| 9. アルコールと薬物乱用・依存・離脱の病態と症候 | 森田 |
| 10. ギャンブル・ゲーム依存症の病態、診断と合併症 | 森田 |
| 11. 統合失調症の急性期の診断と治療 | 高橋 |

12. 統合失調症の慢性期の治療	高橋
13. うつ病と躁うつ病（双極性障害）の症候と診断	篠崎
14. Covid-19 感染症と関連したメンタルヘルス問題	高橋
15. 不安障害・ストレス関連障害・解離性障害	辻
16. 職域メンタルヘルス	山本
17. 主な精神疾患・障害の治療	山本
18. 修正型電気けいれん療法と経頭蓋磁気刺激療法	高橋
19. サイコオンコロジー／周産期メンタルヘルス	辻
20. 多動性障害と広汎性発達障害（小児・思春期の精神障害）	小瀬
21. 精神科救急診療	小瀬
22. 睡眠障害の診断と治療	郭
23. 精神医学の歴史と現在	志波
24. 比較文化精神医学	宮西
25. 精神科 TBL	辻

IV 推薦テキスト及び参考書

(1) テキスト

1. 標準精神医学	第 6 版	（野村総一郎、樋口輝彦 監修）	医学書院
2. T E X T 精神医学	第 4 版	（加藤進昌、神庭重信、笠井清登 編）	南山堂
3. 現代臨床精神医学	第 1 2 版	（大熊輝雄 原著）	金原出版

(2) 参考書

1. DSM-5 精神疾患の診断・統計マニュアル	（高橋三郎、大野裕 監訳）	医学書院
2. カプラン臨床精神医学テキスト	日本語版第 3 版（井上令一 監修）	医学書院
	メディカル・サイエンス・インターナショナル	
3. POCKET 精神科	改訂 2 版（武田雅俊、鹿島晴雄 編）	金芳堂
4. 専門医をめざす人の精神医学	第 3 版（山内俊雄、小島卓也、倉知正佳、鹿島晴雄 編）	医学書院

V 評価の方法

定期試験の成績を全学的な基準により評価し、合格の目安とする。

なお、出席が 2/3 に満たない場合は、不合格とする。

講義日程表

精神医学

No.	月日	曜日	時限	項目	担当科	担当
1	R3.4.9	(金)	4	患者医師の良好な信頼関係に基づく精神科面接の基本	神経精神科	高橋
2	R3.4.16	(金)	4	精神科診断分類法	神経精神科	篠崎
3	R3.4.16	(金)	5	心理検査・画像検査	神経精神科	篠崎
4	R3.4.21	(水)	4	主な精神疾患・障害の治療	神経精神科	山本
5	R3.4.21	(水)	5	職域メンタルヘルス	神経精神科	山本
6	R3.4.23	(金)	4	コミュニケーション技法とアンガーマネジメント	神経精神科	山田
7	R3.4.23	(金)	5	老年期の精神医学	神経精神科	山田
8	R3.5.12	(水)	4	サイコオンコロジー／周産期メンタルヘルス	神経精神科	辻
9	R3.5.12	(水)	5	コンサルテーション・リエゾン精神医学	神経精神科	辻
10	R3.5.14	(金)	4	統合失調症の診断と治療	神経精神科	高橋
11	R3.5.19	(水)	4	比較文化精神医学	神経精神科	宮西
12	R3.5.19	(水)	5	不安障害・ストレス関連障害	神経精神科	辻
13	R3.5.21	(金)	4	修正型電気けいれん療法と経頭蓋磁気刺激療法	神経精神科	高橋
14	R3.5.21	(金)	5	うつ病と双極性障害の症候と診断	神経精神科	篠崎
15	R3.5.24	(月)	4	自閉症スペクトラム障害と注意欠如・多動性障害	神経精神科	小瀬
16	R3.5.24	(月)	5	精神科救急医療	神経精神科	小瀬
17	R3.5.28	(金)	4	精神医療の法と倫理	神経精神科	奥平
18	R3.5.28	(金)	5	精神医学の歴史と現在	神経精神科	志波
19	R3.5.31	(月)	4	Covid-19感染症に関連したメンタルヘルスの問題	神経精神科	高橋
20	R3.5.31	(月)	5	身体表現性障害・解離性障害・摂食障害	神経精神科	辻
21	R3.6.4	(金)	4	アルコール・薬物乱用・依存・離脱の病態と症候	神経精神科	森田
22	R3.6.4	(金)	5	ギャンブル依存症・ゲーム依存症の診断治療	神経精神科	森田
23	R3.6.7	(月)	4	症状精神病の概念と診断	神経精神科	郭
24	R3.6.7	(月)	5	睡眠障害の診断と治療	神経精神科	郭
25	R3.6.14	(月)	4	精神医学系TBL1	神経精神科	辻
26	R3.6.14	(月)	5	精神医学系TBL2	神経精神科	辻